

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 エムティジェネックス株式会社

コード番号 9820 URL <http://www.mt-genex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤沢 久晃

TEL 03-5405-4011

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	850	△7.1	114	△14.4	121	△13.7	70	△9.9
24年3月期第2四半期	915	△25.1	133	△61.3	140	△60.3	78	△59.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 70百万円 (△9.5%) 24年3月期第2四半期 77百万円 (△59.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.52	ー
24年3月期第2四半期	7.24	ー

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2,122		1,719		81.0		159.46	
24年3月期	2,372		1,692		71.3		156.96	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,719百万円 24年3月期 1,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	4.00	4.00
25年3月期	ー	0.00			
25年3月期(予想)			ー	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	1.1	325	△9.8	336	△9.8	190	△5.3	17.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,796,000 株	24年3月期	10,796,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	14,981 株	24年3月期	14,386 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,781,372 株	24年3月期2Q	10,782,369 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかに持ち直しするものと期待されたものの、海外経済の減速等により、先行きは不透明感を増したまま推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、「快適な都市環境・オフィス空間の提供をサポートするトータルプロパティコーディネーター」として、「リニューアル事業」、「駐車場運営管理事業」、「住宅・ビル管理事業」の3事業を柱とする安定的な収益基盤の確立に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高850,451千円（前年同期比7.1%減）、営業利益114,468千円（同14.4%減）、経常利益121,140千円（同13.7%減）、四半期純利益70,323千円（同9.9%減）となりました。

期初の計画通り、前年同期に比べては減収減益であり、平成24年5月10日発表の「平成24年3月期 決算短信」に記載の第2四半期（累計）業績予想数値に対しても若干ながら減収とはなっておりますが、四半期純利益においては、第2四半期（累計）業績予想数値を確保いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①リニューアル

企業の設備投資意欲が減退する事業環境の中、オフィスビルの入退去に伴う内装工事の受注活動に注力し、計画を大きく下回ることなく受注を獲得することができましたが、前年同期の業績には届かず、売上高は237,892千円（前年同期比38.8%減）となりました。

②駐車場

個人、法人ともに自動車利用を控える事業環境の中、前年下半期に開設した駐車場及び前年下半期に獲得した大型の月極契約等が寄与し、ほぼ計画通りの業績を達成し、前年同期の業績を大きく上回ることができました。この結果、売上高は323,791千円（前年同期比30.0%増）となりました。

③住宅・ビル管理

受託ビルの拡大及び管理コストの低減、防火対象物点検業務の受注拡大、トイレトーパー等卸売業務の原価管理徹底と販路拡大、自販機設置業務の設置場所拡大にそれぞれ注力いたしました。この結果、売上高は254,522千円（前年同期比3.6%増）となりました。

④その他

保険代理業務の受注拡大に注力いたしました。この結果、売上高は34,245千円（前年同期比8.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、関係会社への貸付金が100,000千円増加したものの、現金及び預金が201,550千円減少したこと、また、完成工事未収入金が130,430千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ250,347千円減少いたしました。

負債は、保険代理業務等における預り金が212,409千円減少したこと、また、工事未払金が91,792千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ277,207千円減少いたしました。

純資産は、配当金の支払43,126千円、四半期純利益70,323千円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ26,859千円増加いたしました。

以上の結果、総資産は2,122,617千円、負債合計は403,521千円、純資産合計は1,719,096千円、自己資本比率は81.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、四半期純利益の計上による収入があったものの、預り金の減少、貸付による支出があったこと等から、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は610,480千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、58,759千円の支出となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益121,140千円、売上債権の減少額135,266千円であり、支出の主な内訳は、預り金の減少額212,409千円、仕入債務の減少額101,693千円であります。なお、預り金の減少は、損害保険代理業務における前連結会計年度末一時預り保険料等の精算によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、99,880千円の支出となりました。この主な内訳は、関係会社貸付けによる支出100,000千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、42,911千円の支出となりました。この主な内訳は、配当金の支払額43,092千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

市場環境は先行き不透明感が増すと懸念されるものの、下半期につきましては、リニューアル事業におけるオフィスビルの入退去に伴う内装工事の受注活動の一層の強化、また、駐車場事業における時間貸駐車場の稼働率のアップ及び月極契約の営業強化等、平成24年5月10日発表の「平成24年3月期 決算短信」に記載の業績予想（売上）の達成を目指し努力してまいります。また、利益面につきましては、市場環境が厳しい中、原価管理の徹底を継続することにより、同業績予想を上回る可能性もありますが、現在のところ既発表の「平成24年3月期 決算短信」に記載の業績予想からの変更はいたしません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,031	610,480
受取手形及び売掛金	47,770	42,934
完成工事未収入金	157,579	27,149
未成工事支出金	10,299	1,770
関係会社短期貸付金	1,100,000	1,200,000
繰延税金資産	19,753	18,906
その他	31,536	35,970
貸倒引当金	△447	△224
流動資産合計	2,178,523	1,936,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,534	6,534
減価償却累計額	△5,305	△5,403
建物及び構築物(純額)	1,228	1,131
機械装置及び運搬具	1,257	1,257
減価償却累計額	△890	△982
機械装置及び運搬具(純額)	366	275
土地	22,048	22,048
その他	25,199	27,270
減価償却累計額	△13,442	△15,032
その他(純額)	11,757	12,237
有形固定資産合計	35,401	35,692
無形固定資産		
のれん	67,313	57,697
その他	7,013	6,150
無形固定資産合計	74,326	63,847
投資その他の資産		
投資有価証券	18,866	18,445
敷金及び保証金	47,217	47,097
繰延税金資産	15,894	17,927
その他	13,512	13,397
貸倒引当金	△10,778	△10,778
投資その他の資産合計	84,713	86,090
固定資産合計	194,442	185,630
資産合計	2,372,965	2,122,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,330	35,429
工事未払金	114,718	22,926
未払法人税等	40,927	54,575
前受金	33,900	43,310
預り金	315,780	103,370
賞与引当金	11,659	11,420
その他	15,082	23,954
流動負債合計	577,399	294,988
固定負債		
長期預り敷金	77,845	81,139
退職給付引当金	25,483	27,393
固定負債合計	103,329	108,533
負債合計	680,728	403,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,072,060	1,072,060
利益剰余金	619,590	646,788
自己株式	△1,839	△1,906
株主資本合計	1,689,811	1,716,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,425	2,154
その他の包括利益累計額合計	2,425	2,154
純資産合計	1,692,236	1,719,096
負債純資産合計	2,372,965	2,122,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	915,209	850,451
売上原価	653,158	593,492
売上総利益	262,051	256,959
販売費及び一般管理費	128,302	142,490
営業利益	133,748	114,468
営業外収益		
受取利息	5,123	5,864
受取配当金	183	197
雑収入	1,653	609
営業外収益合計	6,961	6,672
営業外費用		
雑損失	396	—
営業外費用合計	396	—
経常利益	140,313	121,140
税金等調整前四半期純利益	140,313	121,140
法人税、住民税及び事業税	51,434	51,852
法人税等調整額	10,853	△1,035
法人税等合計	62,288	50,816
少数株主損益調整前四半期純利益	78,025	70,323
四半期純利益	78,025	70,323

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,025	70,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△617	△271
その他の包括利益合計	△617	△271
四半期包括利益	77,407	70,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,407	70,052
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	140,313	121,140
減価償却費	2,680	4,541
のれん償却額	9,616	9,616
長期前払費用償却額	114	114
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,581	△239
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,104	1,909
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,225	△223
受取利息及び受取配当金	△5,307	△6,062
売上債権の増減額(△は増加)	△37,782	135,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,644	8,529
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,020	△4,396
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△34,716	12,392
仕入債務の増減額(△は減少)	1,216	△101,693
預り金の増減額(△は減少)	△71,951	△212,409
未払費用の増減額(△は減少)	△2,487	1,638
その他	△7,357	3,294
小計	△6,948	△26,579
利息及び配当金の受取額	5,305	6,024
法人税等の支払額	△168,665	△38,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	△170,307	△58,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,405	—
無形固定資産の取得による支出	△3,135	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△80
敷金及び保証金の回収による収入	700	200
関係会社貸付けによる支出	△70,000	△100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,840	△99,880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△12	△66
配当金の支払額	△43,096	△43,092
その他	415	248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,693	△42,911
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△287,841	△201,550
現金及び現金同等物の期首残高	792,447	812,031
現金及び現金同等物の四半期末残高	504,606	610,480

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。